

庁内連携会議の取組

当日資料

目的

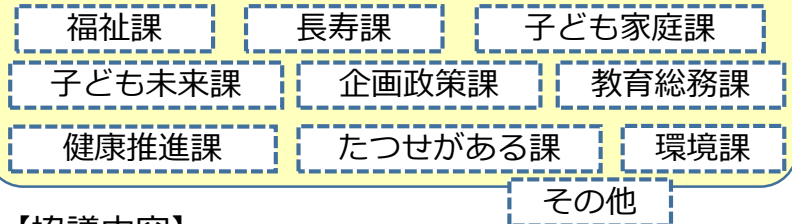
- ①第2次地域福祉計画に基づき、多様な地域課題に対して、各分野が連携し、新たな取組の検討
- ②困難ケースの対応や各課の課題等を整理し、戦略的な議論を進めるための仕組みづくり
- ③重層事業実施計画の策定に向け、具体的な体制等を議論する協議体としての位置づけ

⇒議論するプロセスにおいて、庁内における情報共有に関する共通意識の醸成を進めていく

庁内連携会議の構成

庁内連携会議

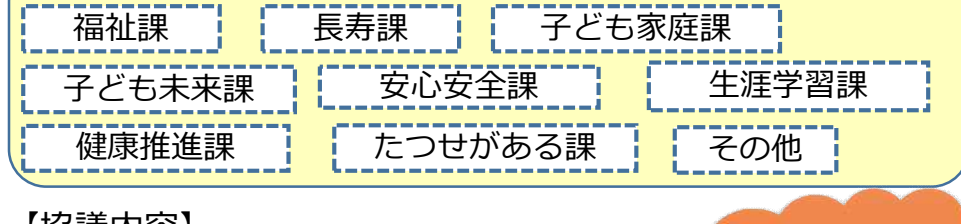
相談支援G



【協議内容】

- ・市全体で包括的な相談支援体制の仕組みづくり
- ・困難ケース等の情報共有 など

くらし・防災・まちづくりG



【協議内容】

- ・誰もが役割と居場所のあるまちづくりのための取組 (多世代交流・生涯学習等)
- ・災害時等に支援が必要な人への取組
- ・交通弱者への支援のための取組 など

今後は協議内容に合わせてグループ編成したい！

※ 内容に応じて、課長又は担当職員の参加

庁内連携会議の取組

回	日時	グループ	内容
1	R3.11.5	合同	第2次地域福祉計画「共通して取り組むもの」の各課の取組状況
2	R4.1.9	合同	(第1部)越境人材を発掘する (第2部)災害時における要支援者への支援を考える(くらしG) 相談支援で各課が困っていることを共有(相談G)
3	R4.3.18	相談G	事例検討(8050世帯のケース)
3	R4.3.25	くらしG	BCPを切り口に、各課がどのように連携できるか考える
4	R4.5.11	合同	”「助けがなかったら生きていけない人は全力で守る」ために私たちはどう関わっていけばよいか”解決する手段・方法をワーク形式で考察
4'	R4.6.14	相談G	現状の情報連携・支援の流れを確認、課題を洗い出し など
5	R4.8.16	合同	第4回のワーク結果から、「面白そう、一緒に考えたい」プロジェクトを深掘り、解決できそうなこと・課題を検討
6	R5.2.8	合同	地域共生社会の実現に向けて(市長メッセージ、パネルディスカッション等)

庁内連携会議の取組

第7回 R5.3.20

内容:

・多問題世帯をわがまちでどう支えるか

講師:半田市障がい者相談支援センター センター長 加藤恵氏

・個別ケース使ったグループワーク

(ねらい)

①お互いの仕事を理解する

②異なる立場の人と知恵を出し合うことを
体験する

③「市全体」を捉えると何が見えてくるか、
体感する



庁内連携会議の取組

第7回 R5.3.20

〈参加者の声〉

- 複数の機関と連携することは大変だが、大変な話し合いほど必要性が高いと感じる。
- 管理部門も含め、市全体で個別ケースを学ぶことで、「つながり」の共通認識を持ちたい。



- 行政サービスだけでなく、頼りになる人に出会う仕組みについて、話し合いたい。
- 他分野のアイデアが、活用できることも多いので、この話し合いを重ねていきたい。
- 役割分担して終わりではなく、チーム全体で関わり続けることが大切。